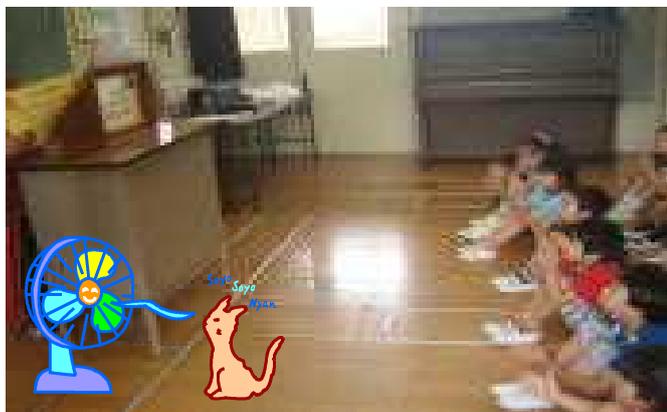


1～6年生「科学的な理解をすすめる放射線教育」



【1・2年 紙芝居と質問コーナー】 ↑



【3・4年 講義・霧箱で放射線飛跡の観察】



【5・6年 放射線量測定・講義】 ↓



7月13日(木)「科学的な理解をすすめる放射線教育」事業の出前授業が2校時、高学年、3校時、中学年、4校時、低学年で行われました。(公財法)原子力安全研究協会と環境省福島環境再生事務所 除染情報プラザのスタッフ総勢10名以上の皆様のご協力のもと、講師として国際情報工科自動車大学の吉澤敏雄先生をお招きして、各学年の発達段階に応じた「放射線って何だろう」「放射線から身を守るには」という学習課題に取り組みました。紙芝居や説明を見聞きしたり、放射線の飛跡を観察したり、放射線測定値を地図に表したりなど体験的な学習を行いました。子ども達は興味関心をもって積極的に学習していました。放射線に関する学習は「学級活動」で年間2時間、指導しています。知識だけではなく「自ら考え行動できる」児童の育成を目指し震災の教訓をしっかりと継承していくよう努めてまいります。



楽しかったドッチビー教室

7月10日(月) HAPPY DISC PROJECT for 福島「ドッチビー教室」を開催しました。講師として遠路、静岡・茨城・埼玉県から、長峰さん、新妻さん、門田さんがお出でくださいました。東日本大震災で被災した本県児童のために、平成23年8月からドッチビーを教え各校にディスクを寄贈する活動を続けておられます。これまで本県の幼稚園・小学校の二百校以上で開催されています。1・2年、3・4年、5・6年のブロック毎に行いました。投げ方や取り方、遊び方を習った後、ディスクで点数ボードを打ち落とす簡単なゲームをしました。終了時に各学年に1枚、ディスクをプレゼントしていただき、子ども達は大喜びでした。ディスクの代金は長峰さんの呼びかけで協賛した方からの浄財でまかなわれているそうです。本県の子ども達に「災害に負けず屋内外で十分に身体を動かして遊んでほしい」という温かい心を受け止め、更に、子ども達の体力向上に努めていきたいと思ひます。

現職教育 授業研究会 第1・2・3回



【第1回 4年体育「表現・リズムダンス」】



【第2回 2年道徳「こぼれた水」】



【第3回 6年算数「比と比の値」】

研究主題「確かな学力向上と人権感覚を育む学習指導の在り方」を今年も継続して、平成28～29年度、福島県教育委員会委託「人権教育開発事業」に取り組んでいます。

第1回は6月14日(水) 櫛田教諭が4学年体育の授業を行いました。子ども達はいろいろなスポーツの特徴をとらえてリズムカルに踊っていました。第2回は6月30日(金) 関本教諭が2年道徳の授業を行いました。間違えてコップの水をこぼしてしまった女の子と学級の友だちの言動を豊かに想像していました。第3回は7月14日(金) 樋口教諭が6年算数の授業を行いました。材料の重さの比と一方の重さが分かっているとき、もう一方を求める方法を図や数直線、計算で自分なりに考え解くことができました。

社会を明るくする運動強調月間(7月)

「社会を明るくする運動」～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～ すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする国民的な運動です。更正保護女性会の皆さんは、毎月20日、登校時の声かけ運動をしてくださっています。

⇒
常葉町更正保護女性会より
クリアファイルをいただきました。
(7/14)



